

特別展 出品目録

- 本目録は神奈川県立歴史博物館にて2010年11月20日(土)から12月19日(日)まで開催される特別展「浮世絵 ☆忠臣蔵 -描かれたヒーローたち!?-」の出品目録です。
- 「所蔵」の項目が空欄の箇所は、当館 神奈川県立歴史博物館所蔵を示します。
- 諸事情により、前期・後期に分け期間を限って展示するものがあります。「期間」の項目をご参照ください。

前期：11月20日～12月5日

後期：12月7日～19日

表記のないもの：全期間展示

なお、展示期間は作品の状態により変更する場合がございますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

No.	作品名	作者名	制作年代	所蔵	展示期間
第1章 その物語					
1	忠臣蔵 大序	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
2	忠臣蔵 二段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
3	忠臣蔵 三段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
4	忠臣蔵 四段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
5	忠臣蔵 五段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
6	忠臣蔵 六段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
7	忠臣蔵 七段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
8	忠臣蔵 八段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
9	忠臣蔵 九段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
10	忠臣蔵 十段目	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
11	忠臣蔵 十一段目一 夜打押寄	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
12	忠臣蔵 夜打二 乱入	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
13	忠臣蔵 夜打三 本望	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
14	忠臣蔵 夜打四 引取	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
15	忠臣蔵 夜打四 両国引取	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
16	忠臣蔵 夜打六 焼香場	歌川広重 (初代)	天保(1830~44) 中期		
17	忠孝義臣伝	歌川豊国 (三代)	弘化元年(1844)頃		
18	忠雄義臣録 第壹	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		
19	忠臣蔵 大序	歌川国清 (二代)	安政4年(1857)		
20	忠雄義臣録 第三	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		
21	忠臣蔵 三段目	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)		
22	忠臣蔵 五段目	歌川国清 (二代)	安政4年(1857)		
23	忠雄義臣録 第七	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		
24	仮名手本忠臣蔵 八段目	五雲亭貞秀	天保年間(1830~44)		
25	仮名手本忠臣蔵 八段目	歌川国輝 (初代)	嘉永4~5年 (1851~52)		
26	忠臣蔵 八段目	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)		
27	仮名手本忠臣蔵 九段目	葛飾北斎	文化3年 (1806) 以降		
28	浮絵忠臣蔵 九段目の凶	歌川豊国 (初代)	寛政 (1789~1901) 後期		
29	浮絵忠臣蔵 九段目の凶	歌川豊国 (初代)	寛政 (1789~1901) 後期		後期
30	仮名手本忠臣蔵 九段目	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)後期		後期
31	忠雄義臣録 第九	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		前期
32	仮名手本忠臣蔵 九段目	五雲亭貞秀	天保年間(1830~44)		後期
33	忠臣蔵 十段目	歌川広重 (初代)	天保14~弘 化4年(1843~47)		後期
34	忠雄義臣録 第十	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		前期
35	忠臣蔵 十段目	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)		後期
36	仮名手本忠臣蔵 十段目	落合芳幾	明治元年 (1868)		前期
37	浮絵忠臣蔵 十一段目	勝川春好 (二代)	文化 (1804~18)~文 政 (1818~30) 初期		前期
38	仮名手本忠臣蔵 十一段目 前	歌川豊国 (三代)	天保年間(1830~44)		前期
39	忠雄義臣録 第十一	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		前期
40	忠雄義臣録 第十二	歌川豊国 (三代)	弘化3~嘉永元年 (1846~48)		前期
41	忠雄義臣伝 巻之十一	歌川豊国 (三代)	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		後期

42	忠雄義臣伝 巻之十二	歌川豊国 (三代)	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		後期
43	新版浮絵忠臣蔵十一段目夜討之図	溪斎英泉	天保年間(1830~44)		前期
44	仮名手本忠臣蔵 十一段目	五雲亭貞秀	天保年間(1830~44)		後期
45	仮名手本忠臣蔵 十二段目	歌川国芳	安政元年(1854)		前期
46	忠臣蔵 十一段目	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)		後期
47	忠臣蔵 大尾	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)		後期
48	裏表忠臣蔵	歌川国芳	安政元年(1854)		前期
第2章 英雄たちの肖像					
49	誠忠義士肖像 大星由良之助良雄	歌川国芳	嘉永5年(1852)	国立歴史民俗博物館	
50	誠忠義士肖像 富之森祐右工門正固	歌川国芳	嘉永5年(1852)	国立歴史民俗博物館	
51	忠臣義士高名競 三十八 徳田唯右エ門行高	歌川国芳	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		
52	誠忠義臣名々鏡 磯合重郎右衛門正久	歌川国芳	安政4年(1857)		
53	誠忠義臣名々鏡 芦尾田又之丞光時	歌川国芳	安政4年(1857)		
54	誠忠義臣名々鏡 吉田河右衛門兼貞	歌川国芳	安政4年(1857)		
55	義士英名伝之内 早野勘平	歌川豊国 (四代)	文久3年(1863)		
56	教導立志基 大石義雄	水野年方	明治23年(1890)	東京都江戸東京博物館	
57	忠臣蔵夜討大手ノ義士廿四人搦手ノ義士廿三人弐国橋会合図	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)		
58	忠臣蔵焼香ノ図	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)		
59	義士仇討之図	歌川広重 (初代)	天保(1830~44)		
60	忠臣蔵義士本望の図	五雲亭貞秀	天保(1830~44)		
61	義士本望逐酒店会賀引取図	五雲亭貞秀	天保(1830~44)		
62	(義士双国橋引上げ)	五雲亭貞秀	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		
63	義士本望を達して仙国寺へ引取固の図	歌川国芳	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		
64	忠臣蔵十一段目夜討之義士追手組四十七人勢揃ひの図	歌川芳虎	弘化4~嘉永3年 (1847~50)		
65	義士四十八之像	歌川芳虎	嘉永2~5年 (1849~52)		
66	誠忠義士討入姓名	歌川芳員	安政6年(1859)		
67	『東海道名所図会』	秋里籬島	寛政9年(1797)		
68	『江戸名所図会』	斎藤幸雄・幸孝・幸成 (月峯)	天保5、7年(1834/36)		
69	『江の島まうで浜のさざ波』	平亭銀鷄	天保4年(1833)あるいは10年	神奈川県立金沢文庫	
70	江戸の華名勝会 三番組 汐	歌川豊国 (三代)・五雲亭貞秀・鳥居清国	元治元年(1864)		
71	東都芝万松山泉岳禅寺略図		江戸時代末期	個人	
72	播州赤穂城下台雲山華岳禅寺全図	長安周得	江戸時代末期	慶應義塾図書館	後期
第3章 「忠臣蔵」を演じたスター					
73	忠臣蔵 十一段続 七たん目	勝川春章	天明(1781~89)		
74	忠臣蔵 弍たんめ	勝川春好	安永 (1772~81)		
75	江都大芝居櫓下図 続内序	勝川春英	天明(1781~89)後期		
76	忠臣蔵 六たんめ	栄松斎長喜	享和元年(1801)頃		
77	初代沢村源之助の判官 忠臣蔵 四段目之図	歌川豊国 (初代)	文化8年(1811)		
78	七代目市川團十郎の十太郎と三代目市川門之助のお里糸	歌川豊国 (初代)	文政3年 (1820)		
79	二代目中村芝翫の矢間重太郎と五代目瀬川菊之丞の女房おりへ	歌川国安	文政11年(1828)		
80	二代目中村芝翫の矢間重太郎と岩井杜若女房おりへ	歌川国芳	天保4年(1833)		
81	二代目関三十郎のゑんや判官	歌川豊国 (三代)	天保元年 (1830)		
82	七ツ伊呂波 ゆ 東都賦紫尽	歌川国芳	嘉永5年(1852)		
83	忠臣蔵八景 九段目の暮雪	歌川豊国 (三代)	慶応元年(1865)		
84	忠臣蔵拾二段続	五綜亭広貞	嘉永 (1848~54)		
85	梅幸百種之内 赤垣源蔵	豊原国周	明治26年(1883)	町田市立国際版画美術館	
86	市川團十郎演芸百番 斧定九郎	豊原国周	明治31年(1898)	町田市立国際版画美術館	
87	仮手本忠臣蔵 四段目	歌川国芳	天保6年(1835)		
88	仮手本忠臣蔵 八段目	歌川国芳	天保6年(1835)		
89	仮手本忠臣蔵 九段目	歌川国芳	天保6年(1835)		
90	忠臣蔵 九段目	歌川豊国 (三代)	安政元年(1854)		
91	忠臣蔵 十段目	歌川豊国 (三代)	安政元年(1854)		
92	忠臣蔵 十一段目	歌川豊国 (三代)	安政元年(1854)		
93	忠臣蔵 十二段大尾	歌川豊国 (三代)	安政元年(1854)		
94	忠臣蔵の内 五段目 六段目	歌川貞房	天保(1830~44)		
95	忠臣蔵の内 九段目 十段目	歌川貞房	天保(1830~44)		
第4章 愉快な「忠臣蔵」					
96	とうせい女忠臣蔵 五段目 鉄砲の段	勝川春山	寛政(1789~1801)前期		
97	高名美人見たて忠臣蔵 初だん	喜多川歌麿 (初代)	寛政6~7年(1894~95)頃		
98	忠臣蔵 二段目	喜多川歌麿 (初代)	享和元~2年 (1801~02)頃		
99	忠臣蔵稚遊 二段目	喜多川歌麿 (初代)	享和(1801~04) 寛政4、5年		

100	見立忠臣蔵七段目	鳥文齋栄之	(1893、4) 頃	千葉市美術館
101	(由良之助の釣狐遊び)	鳥文齋栄之	寛政8、9年 (1896、7) 頃	
102	御座敷人形 忠臣蔵 五段目	歌川豊広	享和 (1801~04)	
103	絵兄弟忠臣蔵 七段目	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)	東京都江戸東京博物館
104	絵兄弟忠臣蔵 九段目	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)	
105	絵兄弟忠臣蔵 十一段目	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)	
106	当盛忠臣蔵 十段目 中万字屋内八ツ橋	歌川国安	文政(1818~30)後期~ 天保 (1830~44)前期	
107	見立てうちん蔵 七段目	歌川国芳	弘化3~嘉永元年 (1846~48)	
108	見立てうちん蔵 十段目	歌川国芳	弘化3~嘉永元年 (1846~48)	
109	忠臣蔵	歌川広重 (初代)	天保(1830~44)	
110	見立滑稽忠臣蔵	歌川広重 (初代)	天保(1830~44)前期	
111	古今浄瑠璃尽 忠臣講釈雪降の段	歌川広重 (初代)	弘化4~嘉永元年 (1848~49)	
112	交張浄留理鑑 忠臣蔵他	歌川広重 (初代)	安政元年(1854)	
113	小倉擬百人一首 九十二 二条院讃岐	歌川豊国 (三代)	弘化4~嘉永3年 (1847~50)	
114	七伊呂波拾遺 万の場 大星親子	歌川豊国 (三代)	安政3年(1856)	町田市立国際版画美術館
115	道外忠臣蔵 初段め	歌川国芳	天保13年(1842)	
116	源氏雲浮世絵画合 夕顔	歌川国芳	天保14~弘 化4年(1843~47)	
117	風流人形之凶	歌川国芳	安政3年(1856)	
118	『東海道写真五十三次勝景』	五雲亭貞秀	明治2年 (1869)	
119	都幾百姿 垣間見の月 かほよ	月岡芳年	明治19年(1886)	
120	つき乃百姿 雪後の暁月 小林平八郎	月岡芳年	明治22年 (1889)	
121	忠臣蔵敵討の段 中、下		江戸時代末期	川崎市市民ミュージアム
122	忠臣蔵四段目城渡シ組上三枚続		明治29年(1896)	国立歴史民俗博物館
123	義士両国橋引上組上五枚つゝき 第5章「忠臣蔵」とかながわ		大正5年(1916)	国立歴史民俗博物館
124	"四十七士像 (川崎市重要歴史記念物)"		延享元年(1744)	稱名寺 (川崎市) 前期
125	預置候金銀請払帳		元禄15年(1702)	箱根神社 (神奈川県箱根町)
126	仮名手本忠臣蔵 大序	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)後期	
127	忠臣蔵 大序	歌川広重 (二代)	安政2年(1855)	
128	東海道五十三対 戸塚	歌川広重 (初代)	天保14~弘 化4年(1843-47)	
129	東海道五十三次の内 程ヶ谷駅 はしため おかる	歌川豊国 (三代)	嘉永5年(1852)	
130	東海道五十三次の内 戸塚駅 早野勘平	歌川豊国 (三代)	嘉永5年(1852)	
131	清書七伊路波 をちうど 腰元おかる 早野勘平	歌川豊国 (三代)	安政3年 (1856)	町田市立国際版画美術館
132	東海道五拾三駅 名画之書分 程ヶ谷 戸塚	歌川豊国 (三代)	河鍋暁斎 元治元年(1864)	
133	五十三次内五 程ヶ谷	豊原国周	明治4年(1871)	横浜市中央図書館
134	五十三次内六 戸塚	豊原国周	明治4年(1871)	横浜市中央図書館
135	東海道一ト眼千両 戸塚 早野勘平	豊原国周・歌川広重 (二代)	慶応3年(1867)	神奈川県立金沢文庫
136	書画五拾三駅 相模 戸塚 落人之追手	歌川芳虎	明治5年(1872)	
137	浮絵忠臣蔵 八段目	勝川春扇	文化 (1804~18)~文 政 (1818~30) 初期	
138	仮名手本忠臣蔵 八段目	歌川豊国 (三代)	天保(1830~44)	
139	東海道一ト眼千両 箱根 高師直 第6章 みんな「忠臣蔵」	豊原国周・歌川広重 (二代)	慶応3年(1867)	
参 考	大君の都	ラザフォード・オールコック	文久2年(1863)	
参 考	泉岳寺	不詳	明治時 代(1868~1912)中期	
参 考	【写真】 泉岳寺		平成22年(2010)11月撮 影	
参 考	【写真】 本所松坂町公園 (吉良上野介邸跡)		平成22年(2010)11月撮 影	
参 考	【写真】 ザカブキ 討入り場面	演出・振付：モーリス・ベ ジャール	昭和61年(1986)年4月 初演	提供：チャイコフスキー 記念東京バレエ団
参 考	【写真】 ザカブキ 顔世	演出・振付：モーリス・ベ ジャール	昭和61年(1986)年4月 初演	提供：チャイコフスキー 記念東京バレエ団
参 考	上絵金彩忠臣蔵図ティーセット	横浜 嶋田	明治(1868~1912)	田邊哲人氏
参 考	【立版古】 義士両国橋引上組上五枚つゝき	牧金之助	大正5年(1916)	原版：国立歴史民俗博物館
参 考	【立版古】 忠臣蔵大序ヨリ十二段マデ組上九枚続	牧金之助	明治25年(1892)	原版：赤穂市立歴史博物館
参 考	【立版古】 忠臣蔵敵討の段 中、下	和泉屋市兵衛	江戸時代末期	原版：川崎市市民ミュージアム

